

令和元年度 科目名 (保健 2)

1 対象年次、単位数、使用教科書

2年次(必修) 1単位
教科書：現代保健体育(大修館)

2 科目の目標

生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

3 評価規準(何を評価するか)

生涯の各段階における健康課題に応じた自己の健康管理を行う必要性と、保健・医療機関を適切に活用することの重要性を理解できたか。

4 評価基準(どんな方法で評価するか)

レポート内容の基本的な部分のみ理解されている場合は、理解度に応じて評価2～3、標準的な部分まで理解できている場合は評価3～4、発展的な部分まで理解できていると判断される場合は評価4～5とする。基本的な部分が理解できていない場合は再提出とする。再提出により合格した場合の評価は2～3とする。

5 試験範囲と試験による評価基準

R1～R3の範囲で7月試験を実施。試験内容はそれぞれ基本的な部分から約40%、標準的な部分から約50%、発展的な部分から約10%を出題し、評価は30～40点を2、41～70点を3、71～80点を4、81点以上を5とする。なお、29点以下については再試験とする。

再試験を繰り返してもなお基準点(30点)に達しない場合は1とする。(単位認定しない)

6 スクーリングの目標・内容・計画

スクーリングは生徒の質問に個別に対応することを基本とする。

シラバス(学習内容、年間指導計画および評価規準・評価基準)

R	項目	内容	教科書	時期
1	生涯を通じる健康	思春期と健康、性意識と性行動の選択、結婚生活と健康、妊娠・出産と健康、家族計画と人工妊娠中絶。	64～73	4月下旬
2	生涯を通じる健康	加齢と健康、高齢者のための社会的取組、保健制度とその活用、医療制度とその活用、医薬品と健康、さまざまな保健活動や対策。	74～87	5月下旬
3	社会生活と健康	大気汚染と健康、水質汚濁・土壌汚染と健康、健康被害の防止と環境対策、環境衛生活動のしくみと働き、食品衛生活動のしくみと働き、食品と環境の保健と私たち、働くことと健康、労働災害と健康、健康的な職業生活。	90～109	6月下旬